

令和7年度 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜城北高等学校 学校運営協議会（第1回）
- 2 開催日時 令和7年6月9日（月） 13:30～15:30
- 3 開催場所 岐阜城北高等学校 会議室
- 4 参加者

会 長	神谷 政人	岩野田まちづくり協議会	事務局員
副 会 長	河野 隆	はなぞの北幼稚園	園長
委 員	菊池 啓子	中部学院大学短期大学部	教授
	前田 吉彦	岐阜北ロータリークラブ	
	林 政明	三田洞地区自治会長	
	中村 有希	ファッションデザイナー	
	長屋 結子	保護者会役員	
学 校 側			
	和田 摂子	校長	
	柴田 幸美	教頭	
	棚橋 英一	教頭	
	高井 和子	事務長	
	車戸 祐介	教務主任	
	福島 和世	生徒指導部長	
	井口 貢志	進路指導部長	
	亀山 貴美子	城北推進部長	
	矢野 善樹	総合学科長	
	坂 美里	生活デザイン科長	

5 会議の概要（協議事項）

（1）教育指導の重点及び学校運営計画

- ・スクールミッション・ポリシーについて
- ・教育指導の重点（学校課題と令和7年度の取組について）
 - 学習指導
 - 生徒指導
 - 進路指導
 - 城北推進
 - 総合学科
 - 生活デザイン科

（2）意見

意見1：新しい取り組み（ネイチャークエスト、ジップなど）の具体的な内容と進め方についてもう少し詳しく説明してほしい。

⇒ネイチャークエストとは、自然体験を通じて生徒の人間力を育成するプログラムで、山県市と連携して実施している。ジップとは来年度から本格的に実施する科目で、専門学校や大学と連携して進める学校設定科目である。学科を超えた学びを提供し、

生徒同士が刺激を与えながら創造的な新たな発想が生まれたりすることを期待している。

意見2：先生方の生徒たちへの思い、社会で生き抜く力、人間力をつけて卒業させたいという思いが伝わってきた。

生徒会や野球部の生徒たちが地域行事に積極的に参加してくれた。行事が大変盛り上がり成功したのは、城北生のお陰だと感じている。今後も地域との連携を強化し、地域行事への参加をお願いしたい。

意見3：学習能力の幅が広く、部活動への参加も難しい生徒がいると聞いた。そのような中で生徒にどのような仕掛けをし、やる気にさせるかがカギである。城北塾などに参加している学習面や部活動での優秀な生徒だけでなく、下層部の生徒への指導も重要ではないか。

意見4：ジップの科目設定について、中学生のニーズに基づいているか。

⇒ジップの科目設定については、中学生のニーズを反映しているものではない。なぜなら学科間の交流を促進するために設計されたものであるため。学校のPRを兼ねるのであれば、中学生のニーズを今後の科目設定に反映することも検討する。

意見5：学校の新たな取組や計画に感銘を受けた。朝、庭にいと、家の前をとおる城北高校の生徒さんがほとんど挨拶をしてくれる。知らない人に挨拶をすることは中々できないことであると思ひので、良い生徒たちで気持ちがいい。

自転車に乗っている生徒でヘルメットをかぶっている生徒を見かける。話を聞くとそんなに多くの生徒がヘルメットをかぶっているわけではないと回答が返ってきた。さらに交通安全教育に力を入れてもらえるとありがたい。

意見6：生活デザイン科で講演をするようになって12年が経つが、生活デザイン科の生徒の人数が減ってきている。少子化のためそういう傾向にあるのは仕方がないかもしれないが、入学希望者が増えるように教育内容を広く宣伝してほしい。

意見7：命にかかわることであるため、ヘルメット着用の重要性を学校でも家庭でも強く言って聞かせることが重要である。また、学校の取組を保護者にもっと周知してほしい。保護者会でも協力したい。

6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会において、全委員より今年度の本校の教育指導の重点及び学校経営計画を踏まえた基本方針について承認が得られた。
- ・第2回では、「生徒及び保護者を対象とするアンケート」の結果や実際に授業を参観したうえで意見、助言等を得る予定である。